

【奈良県】

奈良県立商業高等学校 地域活性化プロジェクト

高校生ボランティア・アワード2024

奈良の地場産業野球グローブ

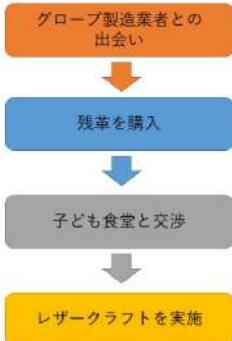
活動内容

「奈良県が日本一を誇る産業」と聞いて皆さんは何を思い浮かべますか？よく知られているのが、日常生活に欠かせない靴下や割りばしです。そして、実は過去には製造量No1を誇っていたほど、野球グローブが有名な産業でした。

私たち自身、奈良県で野球グローブが有名であると知りませんでした。さらに、学校のある桜井市が野球グローブの製造が盛んだったことを知りました。しかし近年、大企業の海外への進出、安価なグローブの輸入によって、奈良県のグローブ製造業は衰退の歩をたどっています。そこで、奈良県の地場産業を広めるために自分たちに何かできないかを考えました。

グローブ製造会社の方に話を聞くと、「グローブ製造は、一つ一つ手作業で行っている。従業員数も少なく、グローブの型取りをした後の革は廃棄している」と伺いました。野球グローブに求められる機能は、耐久性・弾力性・柔軟性です。そのため野球グローブに使われる革は牛革だそうなんです。牛革月合われている理由は、他の動物に比べ皮膚繊維組織が比較的均一で丈夫なこと。次に、生育年数や雌雄などによって、柔らかさ、厚みに違いがあるため、様々な性質の革を作れることの2点があるそうです。そんな良質な革が人手がおらず、時間もいからという理由で廃棄されています。ならば、その残革を使ってアップサイクルをしようと考えました。

そこで、奈良県にある放課後子ども教室ひなたという子ども食堂の館長に相談し、残革を使ったレザークラフトの企画を考えました。



グローブ製造



「エシカルを楽しむ」レザークラフト 捨てるはずのハギレに命を！！

今世の中ではエシカル消費の重要性が謳われています。しかし、価格が高い、エシカル消費自体が認知されておらず、信用されていないケースが多いなど様々な問題を抱えています。

私たちが実施しているのは針も使わず「小さい子どもから高齢者の方々が安全に楽しめるレザークラフトを目指しています。その中で、エシカル消費の「人や社会、地域、環境にやさしい」という理念が楽しみながら様々な世代の人々に伝わることを考えています。

そして普段から私たちが含め様々な人にとつての社会問題解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行い「持続可能な目標（SDGs）」達成に繋がると信じています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「子ども食堂でイベントを実施」

◎ レザークラフト ◎

小学生をメインターゲットに今回はレザークラフトを実施しました。今回は、「コインケース」、「小物入れ」、「三つ折りキーホルダー」、「コースター」、「財布」の計5点の型を準備し高校生の私たちが一緒に教えるながら小学生と一緒にレザー製品を製作しました。



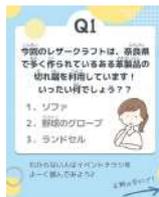
未就学児や小学生からは「とても楽しかった!!」や「定期的なレザークラフトをやってほしい」、「友達とお揃いのが作れて嬉しかった!!」ととても喜んでくれました。



意外なことにお母さん方も子供と一緒に作りながら「とても楽しい!私も作りたい」や「私たちに、私にも教えて!!」と言って下さり、レザークラフトを通して多世代が繋がる可能性を感じました。

当日の様子(令和6年2月18日実施)

そして、子どもたちに「奈良の地場産業グローブ」や「エシカル消費」を伝えるにはどうしたらよいかを考えました。子ども食堂の壁に皮にちなんだなぞぞやクイズ、イベントのチラシを貼りました。その中に「奈良県の地場産業グローブ」や「エシカル消費」についてクイズを作ることで、「レザークラフト」で興味を持ってもらい、クイズなどで学んでもらえるようにしました。子どもたちは「奈良県で野球のグローブが作られてるなんて知らなかった!!」、「レザークラフトの革が捨てるはずのものだったなんて知らない!まだまだ使える!」と言ってくれ、子どもたちに知ってもらえてとてもうれしかったです。



他にも、当日は能登半島で起こった大地震への「能登半島地産支援金券」を実施しました。今回来ていただいた方々の目的は「レザークラフト」だったかも知れませんが、楽しみながら「奈良県の地場産業」、「災害」、「エシカル消費」など様々な現代社会の問題を知り、解決につながったと思います。ただイベントを通して楽しんで終わりではなく異世代が集まり楽しみ交流が増え、様々な問題の解決につながるようなイベントをこれからも企画していきたいです。



「レザー商品の委託販売」

今回のイベントを通して、「レザークラフト」が様々な人が楽しめるイベントだと気づきました。まず、「レザークラフト」を通して多世代が集まり交流できるきっかけを高校生の私たちが中心となって行ってきたいと思っています。

そして、できあがった作品は持ち帰っても良いが、複数個作って、お小遣い稼ぎにハンドメイド作品として各自価格を設定していただき、私たちがお預かりします。そして、月1回開催しているイベントや、各地で行うマルシェで受託販売します。毎月月末にそれぞれの売上を集計し、出品者様に売上金をお渡しします。このような「高校生による委託販売」を行いたいと考えています。

レザークラフト体験は、作業工程が安易なため未経験者でも作ることができ、認知症の方にも良いと介護施設などのリハビリとしても活用されているそうです。自分たちが作った作品をビジネスにつなげることで生きがい作りと経済活動に参加することができ、そういった人たちが巻き込んで、地場産業について知っていただく機会を作り、革をアップサイクルしてビジネスにもつなげていこうと考えています。この活動を通して、地域の方とのコミュニケーションが生まれ、地域のコミュニティ再生にもつながります。また、地場産業の一つであるグローブ製造業を知っていただく機会にもなり、ハギレに命を持たせることができるのも強みです。地域の高齢者や、孤独感を感じている人の心よりどころとなり、さらに経済活動への参加によって生きがい作りにもつながると考えています。

これからも、奈良の地場産業やエシカル消費を浸透させながら異世代交流、地域コミュニティの再生、高齢者の生きがいづくりなど今世の中にあふれている社会問題を考え、課題を解決していくために頑張りたいと思います。

実際の商品



奈良県立商業高等学校地域活性化プロジェクト

私たちは部活動で地元桜井市の産業や特産品を調べていました。そこで、奈良県は野球グローブの製造が有名であり、なんと桜井市にも製造会社があり、有名な同県三宅町に次ぐ製造量を誇っていた時期もありました。私たちは毎日学校のある桜井市に通っていますが、一切知りませんでした。そこで私たちはこの地元の産業であるグローブ製造を様々な人々に知ってもらいたいと思いこのプロジェクトを始めようと思いました。そして、グローブ製造の会社の方に話を聞き、現在は「レザークラフト体験」で桜井市の野球グローブを知ってもらおうという活動になりました。